

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します
鯉川村図書館（村歴史民俗資料館内）
☎ 49-3106

旅屋おかえり

（原田マハ著、集英社）



あなたの代わり、全国どこでも旅にでます！売れない崖っぷちタレントが、ひょんなことから誰かのために旅をする「旅屋」をはじめます。笑いあり涙あり、旅って素敵だなと思える一冊です。

実はスゴイ！大人のラジオ体操

（中村格子著、講談社）



子どものころから慣れ親しんでいるラジオ体操、何となくやっていませんか。使う筋肉を意識して正確に行くと、究極のエクササイズ。大人になった今だからこそ分かるラジオ体操を始めませんか。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日



ふれあい料理教室

川邊孝三代表／会員 15 名

みんなで作って食べるとおいしい！

ふれあい料理教室は、六十歳以上を対象としており、食事作りや食べる楽しみを通して「食」に興味を持ってもらい、生活習慣病の改善や介護予防などの健康管理に役立てることを目的としています。また、参加者同士の交流の場としての役割もあります。

男性の一人暮らしで出来合いの総菜ばかりを食べているのはつまらないと感じたことで教室に参加している人もいます。今では、レパートリーが増え、自分の畑で作った野菜などを工夫して料理をするようになったと言います。

何よりもみんなで作って食べるとおいしいという声が多く聞かれました。世間話をしながら、和やかな雰囲気の中で調理を進みます。しかし、調理の手際は良く、慣れた手つきで食材を切り、あつという間に料理は完成しました。

さめがわを 彩る集い 5

この鯉川で生まれ育って子どもを授かって、親のありがたさや命の尊さを知ることができました。二人の子どもを育て、私自身も自信がなく子育てをしていました。しかし、保育園、幼稚園、小中学校と息子、娘たちの担任の先生に恵まれ、とても優しく温かく、時には厳しく密に連絡をいただき、指導していただいたからこそ伸び伸び子育てができたと感じています。息子が小さかった時は、とてもやんちゃで先生に迷惑をかけながら成長してきたので、申し訳なく感じていました。

いつも息子と「あの時、あの先生に出会わなかったら、どんなふうになっていたか分からないね」と話

村民【随想】リレー — ①②

芳賀勝美さん

「恩師」

次は、長井千恵子さん（赤坂中野字宿ノ）にバトンタッチ！

します。息子の幼少期が走馬灯のように思い出されます。今思うと、本当にいい先生方に出逢えてありがたかったです。先生方のおかげで子どもたちも素直に優しく育ってくれました。

そして、地域のひととのつながりや人の温かさ、たくさんの方々への支えや助けていただいたことに感謝しております。

星空のきれいな自然、鯉川で季節の移り変わりを感じ、交通が少々不便ですが、家族、老いていく両親を大切にこの鯉川の地で暮らしていきたいと思います。



はが・かつみ ●昭和40年4月生まれ。赤坂東野字戸草在住。グループホーム・クローバー（石川町）勤務。趣味は読書。「仕事では、利用者様が笑顔になれるようにお世話させていただいています」と話す。

KATSUMI HAGA

俳句

コスモスや紫色の佐しさよ 中井 恒峯
暑き中いわれし雲出る季節来る 松本 精一
稲刈ら今日も雨かど空見上ぐ 北條素人坂
秋澄むや一切怪の昼の月 前田 綾子
駄句なれど凶器となさん虫時雨 土竜 庵
カボチャ割る残る力を小刻みに 斎須 信子
海嶺の竹島尖閣稲光 黒田 寿香
うたたねの夢は故郷の事ばかり 小松ハル工
休耕田畦を彩る彼岸花 鈴木 米子
金木犀飯設住宅通り過ぐ 山本 恵子
幼けなき夢が揺れてる吊舟草 山本五十鈴
鯉が沢 海の夕日の大きくて自ずと両手合われにけり 鈴木イミ子
朝な夕 手足の動き鈍くなりこれではならぬと 庭など歩む 前田 初
宮島の歴史を訪ね散策の足に纏わる 潮騒いの音 佐藤 春枝
言葉なき花にも言葉あるを知る例えば散水に見せる涙々等 須藤 幸子
思い出がドラママとなって浮かび来る 屋の茶の間の独りの世界 水野 珠子
退屈を凌げば窓に陽のさしてもう秋だよと風送り来る 関根 瑞恵

秋野菜ぐんぐん育つわが如に唄うが如し 小鳥の声も 満井 清乃
再びは生きて来れぬとこの世界じつくり見つみ暮す一日 坂本 伊紀
歯には歯を策には策を日本が世界に起てる日はいつの日ぞ 一 平 子
満月に白く浮き出す夕顔の花に惚びし姉の顔くる 石井 幸子
我が如に咲きし真紅の彼岸花墓に供えて亡夫を偲ぶ 須藤 シツエ
少子化は世相がもたらす報えてやがて国家の存亡に及ぶ 松本 一郎
兄妹佛籍に入り我一人父母の墓前に思いの尽きずに 前田喜三子
生かされて居る喜びに感謝しつつ敬老会に踊る椿古に励む 藤田千代子
幾山も登り来にける八十路すぎ二人静に名月眺む 関根ハナヨ
何時までも続く暑さに白朧等水掛励み共に羨んでいる 関根 富久
秋空を流れゆく雲見上げつつ今日も事なく老いを湯ぶねに 鷺野谷 満
刻々と迫る台風仲秋の名月雲間に見る旅の宿 板橋 源良
待ちかねし一夜の雨が手を分けすつかり秋となりし朝空 関根キ又子
一打に勝敗の道 矢吹 一二
吹く風に秋の気配の深まりて里は黄金の波に埋もる 北條 平

若者の広場 No.95

Young Plaza

■今、夢中になっているものは何ですか？

車とバイクです。高校生のときから好きで、車をいじったりドライブをしたりしています。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

今年からスノーボードを始めたいと思っています。仕事では、組み立て作業の新しい機械設備を立ち上げてみたいです。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

人と人とのつながりが強

いと思います。みんな顔見知りで他人という感じがしな

■これからの鯉川村に望むことはありますか？

どんどん若い人が村外に出てしまうので、村に若い人が集まるようなイベントや場所が増えてほしいですね。小中学生のときも、友達と集まって遊べる場所がなくて困りました。

人と人とのつながりが強い

蛭田 光さん



ひるた・ひかる
平成2年6月8日生まれ 22歳
O型 ふたご座
趣味は車、バイク、スケートボード
渡瀬字上耕地在住

次は渡邊浩輔さん（赤坂東野字蔵ノ草在住）の予定です。

学校だより

(97)

青生野小学校編

貴重な体験楽しかったね！
修学旅行と遠足

十月四日（木）は、鯉川村の六年生（青生野小・鯉川小）の会津若松方面への合同修学旅行でした。

六年生三名は、飯盛山、鶴ヶ城を見学。班別学習では自分たちで計画した通りにフィールドワークを行い大変満足でした。

この日は、一年生から五年生も遠足でした。須賀川方面にあるムシテックワールドや福島空港へ行き、科学マジックを見たり、実験をしたり、ジェット機の離陸を見たりしました。学校ではできない体験に子どもたちは大興奮！真剣なまなざしや笑顔が絶えない一



実験をする子どもたち

日でした。

全校生で登り切った茶臼岳登山



茶臼岳山頂にて

十月十一日（木）、十二日（金）は、全校生で那須甲子青少年自然の家へ宿泊学習に行ってきました。

印象的だったのは、なんといっても一日目の「茶臼岳登山」です。標高一九一五メートルの頂上に全校生が登り切りました。サポーターしてくださった指導員の先生に「小学一年生を含めて一緒に頂上に到達したのは初めて！みんな協力してよくがんばったね」と褒めていただきました。

風が冷たくても、足が痛くなくても、あきらめずにがんばりました。「やったー！バンザイ！バンザイ！」

（文・写真／青生野小学校）

きれいに出来上がったしめ縄を抱える實さん

昔

はやっている人も多かったというわら細工。しかし、今ではやる人も減ってしまいました。その数少ないわら細工名人の一人が鈴木實さんです。實さんが五十歳のころ、農協で行われたわら細工の講習会に参加したことが始めるきっかけとなりました。三十年以上、秋が訪れるたびにわら細工を作り続けています。また、依頼され

て小学生や大学生などにわら細工を教えることもあります。わらがまだ柔らかく、状態が良い十月ごろに、正月用のしめ縄を作ります。實さんの熟練された手技は、一本のしめ縄をあれという間に作ってしまいます。わら細工用のわらを適当な量に束ねて整え、それをリズムよくよっていきます。やはり、よる作業が一番難しいと言います。

實さんの作業を見ると簡単そうにも見えますが、力が弱いとしめ縄が緩くなってしまうため、しっかりと力を入れながらやらなければいけません。完成したしめ縄は、十二月になると「手まめ館」に出されます。直接頼まれて作ることもあり、とても喜ばれていると實さんはうれしそうに話してくれました。



むらの名人・達人 Vol. 4

わら細工名人 鈴木 實さん

すずき・みのる／赤坂西野字大塚在住／86歳

数少ないわら細工名人 力強くしっかりとわらをよる



素早い手付きで正月用のしめ縄を作っていきます